受 個 人 質 問 第 号 付 令和 年 月 日 時 分

一般質問<個人>発言通告書

令和3年8月19日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 わたなべさつ子

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
	長湫東保育園の廃止について	
1	国が2020年に打ち出した「新子育で安心プラン」は、2024年度末までに女性就業率(25歳~44歳)82%に対応できる全国約14万人分の保育の受け皿を整備し、全国約1万2千人の待機児童の出来るだけ早い時期での解消を図るとしている。こうした社会情勢を踏まえ、市は第2期子ども子育で支援事業計画を定めている。市制施行前は公設公営保育園6園であったが、平成24年1月の市制施行後は民間事業者等の保育事業参入により、公設公営保育園6園、公設民営保育園1園、民設民営保育園4園、地域型保育施設7施設で保育事業を展開している。今年度策定した市保育施設整備計画で、「2023年度から、順次、新たな運営による運営開始を目指す。長湫東保育園を2026年度末に廃止し、新たな保育施設を民設民営により整備する。」と公表した。 (1) 長湫東保育園は防災面において避難所の機能がある。廃止後の代替え策はあるのか。 (2) 今ある障害児保育の機能は、どのように引き継がれるのか。 (3) 市は直営の保育園規模で行っている保育について、子どもの育ちの観点からの財政支援はあるか。 (4) 保育園に対する国からの財政支援はあるか。	

(5) 長湫東保育園の廃止について保護者への説明はされたのか。

介護保険の補足給付改定について

介護保険制度の補足給付においては、低所得者の施設利用に際して、食費・居住費の助成が行われている。国は令和3年8月1日から補足給付(施設・短期入所の居住費・食費負担の軽減制度)の見直し、資産要件の預貯金の基準額の引下げ、所得段階に応じた食費の引き上げを行った。

- (1) 令和3年8月現在、介護保険施設の施設サービス利用者は何人か。
- (2) 見直しによる施設利用者への影響について ア 令和3年8月1日現在の65歳以上の独居世帯、75 歳以上の後期高齢者世帯の数はどのようか。
 - イ 令和3年8月の改定で影響を受ける区分は何か。
 - ウ 区分及び種類ごとの人数はどのようか。
 - エ 影響を受けて退所した人はいるか。
- (3) 市は独自救済策を検討しないか。

地域公共交通Nーバスについて

市のN-バスの見直し提案を受け、令和2年12月に市議会から市長にN-バスの運賃見直しについての要望書を出した。

「65歳以上の『赤あったかぁど』を携帯する人の運賃のみを無料対象から外す市の方針であるが、年齢や所得等の状況を踏まえた料金体系とするなど、方針について再度見直すこと。」

「現在検討が進められている高齢者の新たな移動手段が構築できるまでは、N-バス運賃見直しは先送りすること。」

「今回の運賃見直しにより影響の出るNーバスを利用している65歳以上の『赤あったかぁど』所持者に意見を聞くこと。」

- (1) 要望書の項目についてそれぞれどのように検討されたか。
- (2) この要望書をまとめる中で議員から低所得者への配慮を求める意見が出されたが、低所得者への配慮はどのように検討されたか。

2

3

- (3) 令和3年4月からバスの台数が1台減り、コースや時刻の変更があったが、市民からの声や要望はどのようか。
- (4) 令和3年度における4月から6月の「赤あったかぁど」 を含む無料の乗客数は何人で、令和2年度と比較すると どのようか。
- (5) 令和3年7月に市から提示された「無料パス」、「回数券1,000円」、「フリーパス券1か月1,500円」 はどのような意図で設定し、新しく無料対象となる「介護保険法による介護認定者」は、どのような意図で追加されたのか。
- (6) 地域公共交通の確保・維持・利便性の向上等の取り組みは国が支援する事業であるが、国に対して補助金の申請、特別交付税の措置はどのように行われているか。